

「自分の考え方と意見を大切に」

北中学校 3年 池浦 優心

人には人それぞれの考え方や価値観があります。私にも私自身の考え方があって、友達や家族と価値観のちがいでぶつかることがあります。しかし、その度、意見を伝え合い、認め合うことが大切だと思うようになりました。

私は、みんなとちがうと覚えることがあります。私は昔から女の子の友達が多くて、可愛い物や女の子らしいと覚える物が好きです。でも、自分のことをおかしいと思ったことはありません。それは、私自身の価値観であって自分にとっては普通のことだからです。学校やプライベートで一緒にいることが多いのは、女の子だから嫌なことを言われたこともあったけど、そんな自分が嫌になったこともありません。男の子の中で常に女の子の友達といるのは自分だけで、男の子は男の子同士、女の子は女の子同士で仲良くしている子が多いです。でも、私もみんなと同じように自分が仲良くしたい友達と一緒にいるだけです。友達は、自分で決めるもので、男の子とか、女の子という性別だけで友達を区別するのはおかしいと思います。

また、自分の好きなもの、好きなことに自信を持つてばいいと思います。今は、私は、親しい人や自分のことを理解してくれる人にしか好きなものは言えません。それを言ってその人に嫌われたり、変に思われてしまうのが怖いからです。昔から、あまり活発な性格ではありませんが、自分の意見は持っていたので何か言われても落ち込むことは少なかったと思います。しかし、言われたことは長い間心に残っていて、思い出すことがあります。例えば、幼い頃に、ゲームセンターでカードゲームで遊んでいた時のことです。知らない女の子に「男の子やのに遊んでいる」と、笑われたことがありました。たしかに、そのゲームの列に並んでいたのは、女の子しかなくて、男の子は私一人でした。その時に、私は言われて傷ついたので何も思わなかったのは覚えています。しかし、今でも思い出すということは、何か心がひっかかっているんだと思います。

私は昔から、「男らしく」、「女らしく」という言葉はあまり好きではありません。自分が、「男らしく」、「女らしく」になりたいなら、それもすてきな自分の意見です。でも、それを人に押しつけるのは私は反対です。場合によっては、「男」や「女」と区別が必要な時もあるのかもしれませんが、しかし、これからの時代、その区別をする機会を減らしていきたいです。

みんながみんな自分の意見や考えを持ち、自分自身のことを好きになれるような、自信にあふれている世の中が広がっていけば良いなと思います。